

知られざる北島の絶景を回る旅

ニュージーランド

NEW ZEALAND



洗練された町と、目を見張るほどの大自然が隣接するニュージーランド。南半球にあり日本とは季節が逆のため、12～2月が夏。ベストシーズンのニュージーランドは、絶景の宝庫だ。



近代的な建物が並ぶオークランドのダウンタウン

ジェネラルインフォ in ニュージーランド

時差: 日本より東に位置しているため、3時間早い。サマータイム実施期間(9月最終日曜から4月第1日曜)は4時間。
ビザ: 観光を目的とした滞在の場合、3ヵ月以内なら不要。
通貨: ニュージーランドドル(2023年12月現在\$1=89.30円)
物価: 日本と比べても物価は高い。都市部では外食、宿泊ともに高くなる。
ベストシーズン: 南半球にあるため日本とは季節が逆。南島に比べるとやや温暖で、山岳部を除けば雪が降ることもあまりない。ベストシーズンは夏の12～2月頃。
ニュージーランドのユース hostel 情報:
www.yha.co.nz/



詳細は「地球の歩き方ニュージーランド」へ

北島観光の拠点となる街 オークランドを歩く



ニュージーランド最大の都市であり日本からの直行便も発着するオークランド。海に面した港湾地区をのんびりと散歩してみよう。



メインストリートのビクトリア・ロード

10:00 港湾地区、ウィンヤード・クォーターをぶらぶら

港には多くのヨットが停泊し「シティ・オブ・セイルズ」と呼ばれる街を象徴する風景が広がる。港の西側にあるウィンヤード・クォーターは、レストランやバーが並ぶ人気スポット。



港の一角にあるフィッシュ・マーケット。新鮮な魚介が並び、シーフードレストランもある



可動橋を渡った先に広がる

15:00 スカイ・タワーから市内を一望!

タワー内にはホテルや展望レストランも入っている

ダウンタウンの中心に立つ、地上328mのランドマーク。3つの展望台があり、高さ186mのメイン展望台からはダウンタウンを一望。スリル満点のガラスフロアもある。



スカイ・タワー展望台からの眺め

絶叫アトラクションにチャレンジ!

スカイ・タワーでは、高さ192mから飛び降りる絶叫アクティビティのスカイジャンプを開催。都会のビル群に向かって飛び降りる体験ができるのは世界でも珍しい。



11:00 フェリーで対岸のデボンポートへ

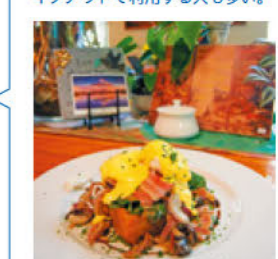
港からフェリーに乗って、対岸のデボンポートへと渡る。近代的なダウンタウンと比べるとのんびりとした雰囲気、歴史的な建物や博物館に立ち寄りながらの散歩を楽しめる。



フェリーの乗船時間は約12分。つかの間のクルーズ気分を楽しんで

おしゃれカフェで休憩!

街にはカフェが点在。デボンポートの人気店が、デボンポート・ストーン・オープン・ベーカリー。テイクアウトで利用する人も多い。

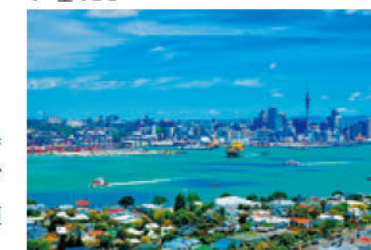


人気はジャガイモで作るスイス料理のロスティ

12:00 マウント・ビクトリアでお手軽ハイキング

デボンポートのフェリー埠頭から真っすぐ歩き、マウント・ビクトリアへのウォーキングコースへ。約15分で登ることができる山頂からは、すばらしい風景が望める。

デボンポートからダウンタウンまで一望できる



14:00 オークランドのメインストリートでウィンドーショッピング

ダウンタウンへ戻り、目抜き通りであるクイーン・ストリートをぶらぶら。道の両側にハイブランドのショップやモールが並ぶショッピングストリートで、おみやげ探しにも最適。

あらゆる店が揃うメインストリート



中心部からひと足延ばして

オークランドの最旬スポットへ

ダウンタウン中心部の南に位置するボンソンビーは、洗練されたレストランやカフェが軒を連ねるオークランドきってのおしゃれストリート。市内を循環するインナー・リンクというバスで簡単にアクセスできる。



雰囲気のよいカフェがたくさんあり「カフェ激戦区」としても知られる



斬新なスイーツが揃うカフェ、フォックスロット・パーラー



約1kmにわたって続く最旬ストリート

オークランドから郊外へ！ 北島の絶景スポット巡り

オークランドから足を延ばして、北島の絶景スポットを訪れよう。
森に海、洞窟に温泉など楽しみはさまざま。



A ワイポウア・フォレスト

カウリ・コースト内に点在するカウリの森を歩けるスポットのひとつ。最大の見どころは、総樹高51.2mの国内最大のカウリ、タネ・マフタ。幹周りは13.77mもある。

©ニュージーランド政府観光局



B カセドラル・コーブ

ハーヘイの町の北に広がる海岸線には、波の浸食でできた断崖が続く独特の地形が見られる。エメラルドグリーンのカセドラル・ビーチにあるトンネル状の奇岩がカセドラル・コーブ。



C ワイトモ洞窟

天井をツチポタルの光が覆い尽くす幻想的な風景が見られる。地元ガイドの案内で洞窟内を歩き、途中からはボートに乗って見学する。なおツチポタルは英語で「グロウワーム」と呼ばれる発光性の虫。



D テ・プイア

町の外れにある文化センターで、広大な敷地内にさまざまな施設が点在。ハイライトは、一度に吹き出す湯量が世界一というポプツ間欠泉。ほかにも国鳥キーウィの保護センターなどもある。



D テパトゥ

古くから先住民族のマオリの人口が多いロトルアには、マオリの伝統文化を伝える施設が点在。そのひとつであるテパトゥでは、迫力のマオリショーや伝統料理などが楽しめる。



F ホビット庄

映画『ホビット』や『ロード・オブ・ザ・リング』で、ホビットが暮らすホビット庄(シャイア)として登場。撮影当時のままに残されており、ツアーで園内を回ることができる。



G トンガリロ国立公園

火山活動が活発で、森林はなくクレーターや火山湖などが点在するユニークな景観となっている。写真は、トンガリロ・アルパイン・クロッシングから見られるブルー・レイク。



E タウポ湖

約616km²の面積を誇る、国内最大の湖。火山の噴火により誕生した湖で、マオリの伝説ではニュージーランドの心臓とされている。湖をめぐるクルーズ船が人気。



H ネイピア

「アールデコの首都」と呼ばれるネイピア。毎年2月には「アールデコ・ウィークエンド」が開催され、期間中は1920~30年代のファッションに身を包んだ人々であふれかえる。

©istock

A カウリ・コースト

北島北部のノースランドの西海岸に広がるカウリ・コースト。北島固有の木であるカウリの森林保護区が大部分を占める自然の宝庫だ。樹齢2000年を超える貴重なカウリが残っている。

ACCESS

公共交通機関はなく、オークランドからのツアーまたはレンタカーを利用する。

B コロマンデル半島

オークランドの東、湾を挟んだ対岸に突き出る半島。半島の西部は緑深い山岳地帯で、東には入り組んだ海岸線が続く。拠点入り組んだ海岸線が続く。拠点はコロマンデル・タウン(西海岸)やハーヘイ(東海岸)など。

ACCESS

オークランドからは長距離バスが運行している。バスは半島内の主要な町に停車する。オークランドからハーヘイまでは所要4時間〜。

C ワイトモ

オークランドの南にある小さな町で、名物はツチポタルの生息する洞窟。最も多くの観光客が集まるワイトモ洞窟のほかアラヌイ、ルアクリ、フットホイッスルなどいくつかの洞窟がある。

ACCESS

オークランドから長距離バスが運行している。所要時間は約3時間40分。少し急ぎ足にはなるが日帰りも可能。

D ロトルア

ロトルア湖の南湖畔に広がる、北島最大の観光地。ロトルアからタウポにかけての一带は、世界でも珍しい大地熱地帯。温泉地としても知られ、町には温泉を楽しめるスパリゾートも多い。

ACCESS

オークランドからは飛行機や長距離バスでアクセスできる。飛行機の場合は所要約40分、バスは1日4~5便運行しており、所要4時間~7時間30分。

E タウポ

タウポ湖の北東湖畔に開けた町。湖のクルーズ船が出るほか、ロトルアと並ぶ温泉リゾートとしても親しまれている。北にはワイラケイ・ツーリスト・パークという自然観光スポットがある。

ACCESS

オークランドからは飛行機や長距離バスでアクセスできる。飛行機の場合は所要約50分、バスは1日3便運行しており、所要約5時間。

F マタマタ

オークランドからロトルア経由で165kmの場所にある小さな村。この農場にホビット村がある。見学はガイド付きツアーでのみ可能で、ツアーはオークランドやロトルアから出発する。

ACCESS

オークランドやロトルアから各社が日帰りのツアーを催行。個人で行く場合はマタマタの観光案内所で申し込める。

G トンガリロ国立公園

3つの火山からなるユネスコ複合遺産。北島最高峰のルアペフ(2797m)、トンガリロ、ナウルホエなどの山々がそびえる。縦走コースのアルパイン・クロッシングは人気のトレッキングルート。

ACCESS

拠点はファカババ・ビレッジや、オークランドからのバスや鉄道が発着するナショナル・パーク駅など。夏には園内を回るバスが出る。

H ネイピア

北島南部の東海岸にある港町。1931年の地震により町が壊滅。その後、当時流行していたアールデコ様式の建物が次々と建設された。現在は町の建物の大部分がアールデコ様式になっている。

ACCESS

オークランドからは飛行機や長距離バスでアクセスできる。飛行機の場合は所要約1時間、バスは1日2便運行しており、所要7時間30分~8時間20分。

日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。
おとなはこどもに、
なれる場所。



Hostelling Magazine vol.36



Cover Interview
清宮レイ (乃木坂46)
思い立ったら、すぐ旅へ

P.02



Youth Hostel Pick up
エナジック沖縄国際
ユースホステル
迎える人と訪れる人が
ともに作るあたたかな空間

P.08



Hostelling Magazine
× 地球の歩き方
知られざる北島の絶景を回る旅
ニュージーランド

P.12



PLATZ

P.16



おしえて! 旅GIRL

P.17



松島むうの
晴れときどき旅びより

P.18



YH-GUIDE
ユースホステルガイド
中国・四国 /
九州・沖縄地方

P.20



Hostelling Magazine vol.36
まとめてダウンロード

※本誌の情報は2024年2月10日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地に確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL. (03) 5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。